

第1号議案

平成27年度事業報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

平成27年度上期における函館市の観光入込は、GLAYによる函館アリーナのこけら落としライブの開催、また、同アリーナでのスポーツ大会や大規模大会が開催されたことに加え、引き続き外国人観光客が好調であったことなどにより、前年同期比101.5%の約321万人となっており、下期についても北海道新幹線の開業、さらに台湾便の増便や函館―中国杭州間に新たな国際定期航空路の開設などからも、好調に推移しているものと推測しているところでございます。

このような状況の中、平成27年度は、当協会が創立80周年を迎えたことから、11月に多くの皆様と共に記念式典、ならびに記念講演会、さらに祝賀会を挙行いたしました。今日まで当協会を支えて下さいました多くの皆様に改めて感謝を申し上げます。

誘客等の事業につきましては、いよいよ待ち望んだ北海道新幹線開業の年であることから、関係機関と連携のもとプロモーションと情報発信、さらに受け入れ態勢の強化など各種事業を進めてまいりました。

国内プロモーションにつきましては、「青森県・函館デスティネーションキャンペーン」における「全国宣伝販売促進会議」に参画し全国の旅行代理店、マスコミに情報発信を行ったほか、3年前より進めている青森、八戸、弘前の各観光コンベンション協会との共催による旅行代理店向けプロモーションを札幌にて開催し、青函の魅力を紹介したところでございます。

さらに、首都圏のメディアを訪問し、テレビ出演などにより全国への情報発信を進めてまいりました。

インバウンド対策としては、北京への国際定期航空路が開設されたことから、北京、上海、天津へのトッププロモーションを行ったほか、台湾、タイへもトッププロモーションを実施してまいりました。

さらに、一般消費者向けに台北とタイの国際旅行博へ参加し、函館の情報を提供してきたところでございます。

受け入れ態勢の強化策としては、当協会が愛称の命名を行った「開港通り」(朝市―ベイエリア間)を観光シンボルロードとしてイルミネーションの設置や「開港ストリートギャラリー」として歴史パネルの設置による魅力向上に努めたほか、未来を担う小学生を対象とした「学習会」を継続実施してまいりました。

また、ホスピタリティ講演会等も開催し、広くおもてなしの心の重要性について周知を図ってまいりました。

一方で、函館アリーナで開催されたGLAYライブの開催協力を行ったほか、体験型イベントとして「GLAYと宝探し」を函館市と共に実施してまいりました。

さらに、北海道新幹線の開業日に合わせ、函館ライナー沿線に歓迎ペイント、看板の設置を行ったほか、開業当日には、市内の幼稚園児、学生らによる「手振りによるお出迎え」、函館駅では表千家同門会との共催による「おもてなし呈茶」を行うなど、多くのお客様を歓迎したところでございます。

また、当協会が管理している旧イギリス領事館の周知PR事業として、親子イベントによる入館促進に努めたほか、当館が築102年を迎えたことから、記念事業として昨年同様合わせて同年齢のご夫妻を全国に呼びかけたメモリアルウェディングも実施し、各種媒体に取り上げられたところでございます。

今後も北海道新幹線開業効果を十分に獲得できるよう会員企業の皆様と共に誘客とホスピタリティの拡充に努めてまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。